

2022年度 自己点検・評価資料

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 応用基礎レベル

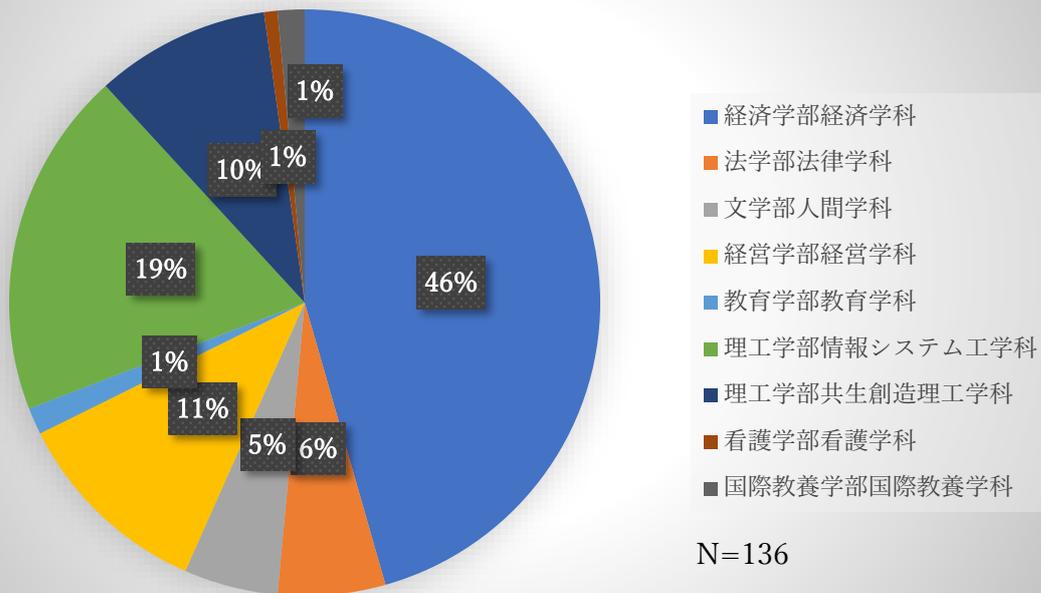
1. 「応用基礎レベル」の履修・修了状況について

「AI基礎」「データ・サイエンス」の履修・修了者の割合について下記の通り、表にまとめた。

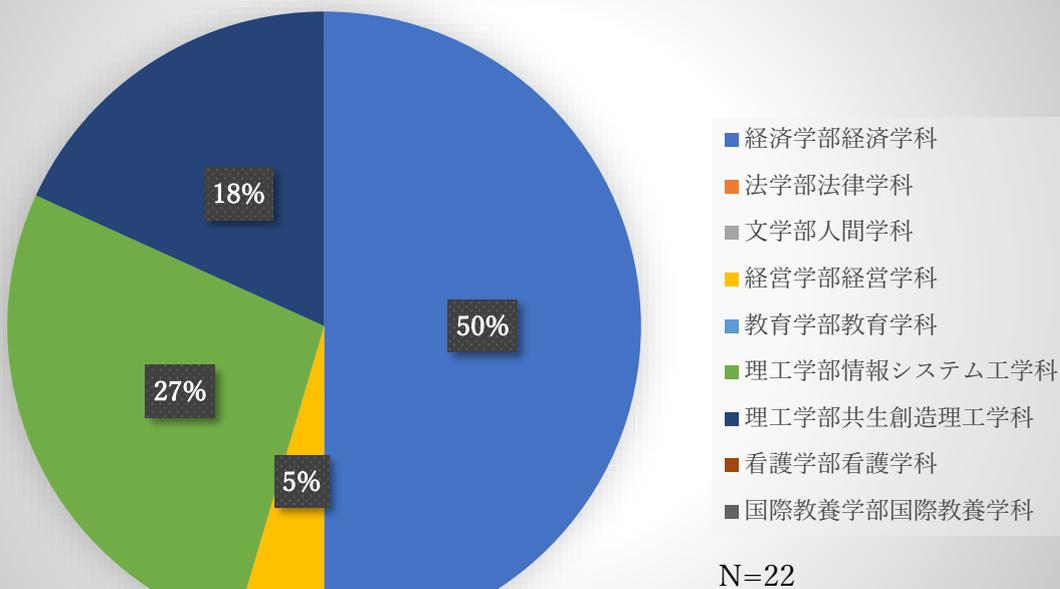
2022年度履修者：2022年度より「AI基礎」or「データ・サイエンス」を初めて履修した学生

2022年度修了者：2022年度の単位修得をもって、「応用基礎レベル」を修了した学生

2022年度「応用基礎レベル」履修者の割合



2022年度「応用基礎レベル」修了者の割合



応用基礎レベルの履修者については、経済学部が46%と最も比率が高く、次いで、理工学部情報システム工学科が19%、経営学部が11%、理工学部共生創造理工学科が10%で他学部に比べて比較的履修の割合が大きかった。

●応用基礎レベルの修了者について

応用基礎レベルの修了者については、経済学部が50%と最も比率が高く、次いで、理工学部情報システム工学科が27%、理工学部共生創造理工学科が18%、経営学部が5%という結果となった。

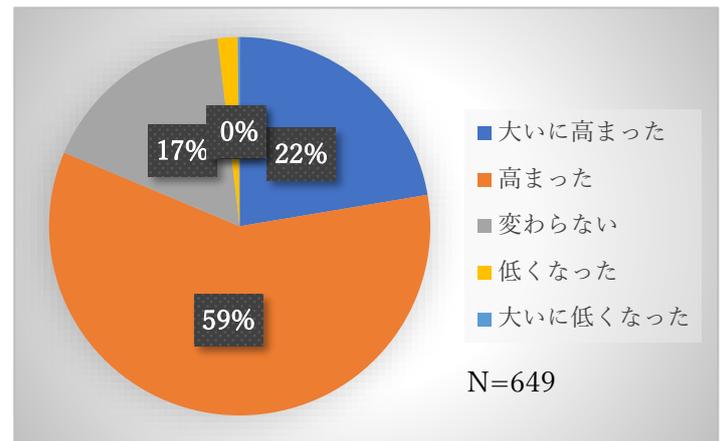
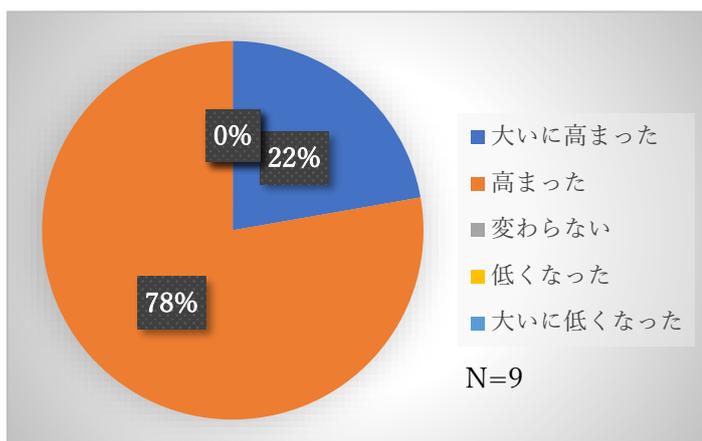
2. 学生アンケートを通じた内容の理解度等について

応用基礎レベル修了者の学修成果を測る1つの方法として、学生生活アンケートの以下の設問の回答結果を修了者と未修了者と比較した。

Q.入学時に比べて、あなたの以下のような能力や知識はどのように変化しましたか。

●情報や知識を分析・表現できる論理的思考力

(左：応用基礎レベル修了者 右：応用基礎レベル未修了者)



応用基礎レベル修了者の方が「大いに高まった」「高まった」の割合が比較的大きく、応用基礎レベルの学びが一定の影響を与えていることが推定される。